

子育て世代とのタウンミーティングの概要

開催日 令和7年7月4日（金）午前10時から

会場 第一委員会室



意見交換の概要

意見者1

駅は、そこに住む住民、川越市を訪れる観光客に対する顔であると考えますが、川越駅東口には三角形のモニュメントや石像など、ふさわしくないと思うものがスペースをとっています。

市内の道路は、舗装が悪くベビーカーで通行しづらいこと、歩道橋や踏切を利用する際にも危険を感じることから対応策の検討をお願いします。通学時の踏切の立哨当番の負担も大きいと感じます。

博物館、美術館、保健センター、警察署など市内に施設が点在していることから、市民が施設を利用しやすくなるようシャトルバスの運行本数を増やし、住みやすい街となることを期待します。

市長

どういうものを見て育ち、生活するかということは、大変興味があるものであ

ることはよくわかります。道路の不具合については、順次整備していかなければと思います。駅近くの踏切を立体交差にできるとよいのですが、道路、線路の高低差など様々な課題があることを認識しています。通学の安全対策は、必要に応じてしっかりとと考えていきたいと思います。旗当番の問題についても、必要な連携をとって考えていきたいと思います。

発言者2

子どもの城の老朽化を感じています。上尾市のことの城と比較すると十分に活用されていない、遊具の老朽化が進んでいると思います。プラネタリウムもある施設なので整備をしていただきたいと思います。

現在設置されている横断歩道の位置を、利用しやすい位置に変更することをお願いします。

保護者にとって旗当番の負担は大きいことから、旗当番について地域の方々の協力をいただけるような方法を検討していただきたいと思います。

障害者やその家族が生活する上で、周囲に「すみません」と配慮する必要がない、周りに謝らないで過ごせる親子の場を設けていただきたいと思います。

4歳、5歳児を対象とするサロンが少ないと感じます。親子がリフレッシュできる場を設けて欲しいです。

子どもが健やかに健康で、安心・安全に過ごせるよう就学児健診等の見直し等をお願いします。

市長

ありがとうございました。子どもの城の老朽化について、これはやっていきたいと思います。施設としてどうなって欲しいとかの希望はありますか。

発言者2

せっかく設置されているウッドデッキが活用されるように見直しをお願いします。

市長

プラネタリウムは、利用されましたか。

発言者2

個人でも、幼稚園の遠足でも利用しました。天体に関する知識を小学校入学前に学べる施設は少ないと感じます。昔ながらのプラネタリウムで好きですが老朽化していると思います。

総合政策部長

設備も老朽化し、プラネタリウムを操作できる人間も限られていることもあります。できれば更新を考えていきたいと思います。横断歩道の移設については警察と協議が必要となることをご理解いただければと思います。

発言者3

パパっこサロンに参加したことが、二人目のこどもが生まれた際に育児休業を取得しようと思えるきっかけになりました。パパっこサロンを企画してくれた市の担当者の方、ボランティアの皆さんに感謝しています。市長に、ぜひ視察をして欲しいと思います。このサロンは非常に独特の心地の良さがあります。ぜひ、市長から直接の評価または感謝を伝えられるような機会があればと思います。

市長

ありがとうございました。パパっこサロンを見に行きたいと思います。どのぐらいの人数が参加されていますか。

発言者3

多くて10名ぐらいです。

市長

私も育休中には、母親同士で定期的に集まる会が楽しかったことを思い出します。パパっこサロン、ぜひ見に行きます。ありがとうございました。

発言者4

新宿町保育園は、エアコンや水道などが整備されている部分はありますが、トイレが男女別になつてない、プールが古く小さいことから改修を積極的に進めていただきたいと思います。備品についても他の園と比較すると物足りなさを感じますので、公立園の保育の質の向上を目指してほしいと思います。

市内には多くの事業所があり、勤務している方も多いと思います。保育園の入園選考にあたり市内勤務の場合は優先度が低くなりますが、市内の企業に対して育休取得に補助するような川越市独自のサポートを企業に対してしていただきたいと思います。

市内には、年中児以上のこどもの遊び場が少なく、市外に行くことになるので充実させていただきたいと思います。

市長

ありがとうございました。施設の老朽化、それから備品の問題など十分に認識させていただきました。遊び場の充実、市内企業の補助なども考えてほしいということで新たな視点をいただいたと思っております。しっかりとできるところからやっていきたいと思います。ありがとうございました。

こども未来部長

保育園の入園にあたっていろいろご苦労されていること、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。また、保育園施設の老朽化も本当に皆様にご不自由をかけて申し訳ないなと思っています。老朽化に関しては、例えば、新しい行政施設ができたときに保育園を入れ込む、他の行政施設の廃止に合わせ保育施設を移すなど一定の工夫の中で取り組みが必要になると思っています。

建物の一般的な大きな改修の目安は、40年となります。40年を超えた施設というのは、新しく建て直すか大規模改修を行うのかという選択肢を求められてきます。ご承知おきいただきたいのは、大規模改修を行うと建て替えの時期は先になります。大規模改修を行い15年、20年と使っていくか、大規模改修は行わず不具合を修繕しながら使用し更新するかは、皆さんのご意見が反映されるところだと思いますので、ご協力をいただることになるかと思います。

以前は、川越市における待機児童数は、100名、200名という状況がありましたが、昨年度は10人以内となっています。他市町村のように、預かる子どもたちがいなくて苦労するといった状況にはないので、引き続き保育園の量も考えながら、いろいろな取り組みを進めていきたいと思います。

発言者5

多様な働き方に合わせた保育の拡充や補助・支援をお願いしたいということ、子育てをする女性への再就職や起業をしたいという方への情報提供や活躍の支援の場をいただきたいということ、子どもたちへの自然教育に力を入れていただきたいということをお願いします。

市長

ありがとうございました。貴重なご意見ありがとうございます。

学校教育部長

様々な体験活動はとても大切なことと思っています。社会性や思いやりの心の育成、生命、自然、環境などへの関心の高まり、地域への愛着の高まりなど効果があると思います。学校では、積極的に地域素材の教材化や、地域の方々にご協力いただき教育活動を進めていますので、改めて働きかけていきたいと思います。

発言者6

市内の公園や施設は老朽化していること、天候が悪い時に利用できる施設が少ないと感じます。

給食の質を高めてほしいと思います。今、アレルギーがある子どもも増えてきていますので体に優しい給食、和食中心の給食というのを進めていただきたいと思います。安心して食べられる給食の質を維持していただきたいと思います。また、牛乳の残食が多いことから牛乳の選択制を提案します。

学校教育以外の選択肢を増やしていただきたいと思います。不登校対策として、通える場の選択肢が自由に選べるような社会になる子どもの多様性も認められて、保護者も「学校に行けない子の親」みたいなストレスも減り、子どもの個性が認められる社会になるのではないかと思います。

施設予約システムの更新に併せて、上戸緑地や寺尾緑地などについてもネット予約できるようしていただきたいと思います。

イネカメムシの農薬散布がドローンで行われたことが、近隣の小学校へのアナウンスがなかったことに不安を感じています。

発言者7

川越市には児童館が少なく市外へ行っています。公園も少なく、複合遊具も少ないと思います。また、産後サポートなどの子育て支援施策が後進的という印象を持っています。市内には、出生者数が全国第3位の病院が全国初のパタニティハウスを設置しています。他市では利用に助成金がありますが、川越市では無く、有効活用されていないなと思います。

未就学児の親子のつながる場が少ないと思います。

こどもが給食を楽しみに学校へ通えるような給食にして欲しいと思います。オーガニック給食の取組みを進めること、牛乳については選択制を導入して欲しいと思います。

旗当番の保護者負担の軽減、学童保育の情報の充実、フリースクールの充実をお願いします。

グリーンツーリズム拠点施設へのシャトルバスの増便をお願いします。

個人事業主の母親は、育休が取れないこと、保育園への入園も不利になってしまふことから、こどもを育てやすい環境を整える政策を期待します。

発言者8

給食費の無償化は良いと思いますが、質はお金を払わないと求められないと思います。

保育料に関して、所得割で負担額が変わるということに不公平感を感じます。同じ保育園に預けていると受けるサービスは同じになりますが、保育料は0円から6万円弱になります。

市長の「日本一子育てしやすいまち川越」を目指すという公約で、市民が求める内容に対しては、財政的な制約があると思います。考え方として、施策の重点をこどもに置くか、高齢者福祉に置くかとなった時、高齢者福祉を削減しなければこどもに財源を向けられないと思います。高齢者福祉が提供しているサービスの中で、こどもにも提供すべきものもあるのではないかと思います。平等の観点から全てを廃止するか、両方見て、同じようなサービスを提供するかという取捨選択は必要になると思います。

分娩数が全国トップクラスの病院の受け皿となっている川越市が、子育てをしやすい街だということを訴えるべきだと思います。

発言者9

産後ケア事業の利用した際に、感じたことをお話しします。

宿泊型を利用しようと思い保健センターに問い合わせしたところ、その対応に疑問を持ちました。「精神的に厳しい人が受けられるものです」という対応を

され、面談以前の問題と思いました。私は、受けたい事情を説明し、何とか面談にこぎつけました。本当に受けてもらおうと思っているのかと疑問に思いました。

さいたま市では産前・産後のヘルパー派遣というのがあります、川越市でも前向きに検討してもらいたいと思います。

発言者10

子どものコミュニティ形成と有事への備え、子どもの大切な命を守るために、小・中学校区の見直し、または柔軟な個別対応を市の方針として定めていただけないかと思います。自宅近くに小・中学校があるにもかかわらず2キロほど距離のある学校に通わなければなりません。少子高齢化によって近所に同年代や子どもが少ない環境下で、より遠い小・中学校通うとなれば、遊び場や生活の範囲も異なります。心身の成長に必要な友人関係や、子ども同士のコミュニティはさらに作りづらくなります。登下校時の事件や事故の危険もあります。一番危惧しているのは、最近の夏の異常な暑さです。夏の暑い中、2キロ近く歩くのは大人でもきついと思います。

災害時に避難するのは、近くの小・中学校になると思いますが、そこに通っていない例えは小学校1年生が1人でそこに行けるのか心配です。普段通っている一番近い小学校であれば、すぐに1人で避難できているだろうと、離れていても安心することができます。エリアによっては学校区が変えられる地域もあり、私の自宅の周りは変えられない。そういう差別化が発生しているので、具体的に全体の見直しというのはすぐに難しいと思いますが柔軟な個別対応をぜひお願いしたいと思います。

学校教育部長

川越市の学校の配置位置及び通学区域が大変複雑になっていることは承知しています。一定の要件のもと住所による指定校ではないところへ通うことを認めるケースもございます。少子化が進んでいますので、今後の学校のあり方について検討を進めているところです。通学区域についても一緒に検討していくたいと考えております。しかし、今すぐにということではなく、各地区の状況を踏まえながら研究してまいりたいと考えております。

発言者10

個別のケースというのはあると思います。そこを住所だけで区切らないで、周りの状況を聞いていただきたいと思います。ぜひご相談させていただきたいなと思います。よろしくお願ひします。

発言者11

私の周りの保護者は、学校給食について無償化を求めている方は少なく、質を求めています。給食費の無償化ではなく他にお金を回してほしいです。

学校に行く機会が多いのですが、小学校の特にトイレが汚いです。第一小学校は、トイレの改修工事が一部終了していません。こども達は教室毎にトイレを指定されていますが、汚いトイレを利用したくないため我慢することももいます。健康の問題になるので、早く対応していただきたいです。

小学校のプール授業を実験的にスイミングスクールで行っている学校があると聞きました。これは大賛成なので、ぜひ進めていただきたいです。

今年は百万灯夏まつりが1日に短縮され、花火も中止なりました。お祭りが少なくなっていくことも、こどもにとってはマイナスかなと思います。川越まつりも縮小されるではないかと心配です。市としても頑張ってほしいと思います。

発言者12

学校給食の無償化は大変ありがたいと思います。質をどうするのかというところをしっかりと見て、無償化をしていただきたいと思います。

小学校入学に向けての支援をしている保育園に行かせたいと思ったときに、市内では残念ながら取り組んでいるところが少なく、取り組んでいるところは人気で入れない状況です。

こども園は預かりの時間が短く、学童も迎えの時間が早いので、送迎ステーションで対象のところ以外でも幅広くこどもを預かってもらい、親がお迎えに行けるように、保育園、認定こども園、幼稚園を整備していただきたいと思います。

学童については、長時間、家を空けることになる夏休みなどを短期間でも預かる制度を作っていただきたいです。

発言者13

入間市ではふるさと納税のクラウドファンディング型寄付を募って、その寄付額で児童書が寄贈され、こども達も恩恵を受けました。以前に川越市に要望し、市長から検討させていただきますという返事もいただいています。このようなふるさと納税型のクラウドファンディングを行い、本の購入ができればよいと思います。図書システムの更新がされることで便利になるので大変助かると思います。また、読書履歴の記録ができるような方法の検討もお願いします。

市長さんに伝えたいことがあるかこどもに尋ねたところ、マインクラフトを活用しての授業の取り組みがあつたらすごく嬉しいなということ、トイレがすべて洋式化されてきれいになつたら嬉しいなということでした。

川越市の児童館を利用していましたが、1日そこで過ごすことが難しくて、上尾の児童館をよく利用していました。また、上尾の円山公園は、駐車場も広く、動物園、遊具、木陰もあり1日過ごせるので、川越にもできればよいと思います。水上公園は小さなこども向けで、3歳から5歳の未就園児には複合施設が足りないとと思うので、ご検討いただきたいと思います。

狭山市では、「ほんきっこ」という活動があり、土・日曜日に参加していまし

た。焚き火やけん玉遊び、世代間交流で外のロープやブランコ、流しそうめん、ハロウィンイベントなどもありました。野外活動をより充実していただきたいと思いました。

発言者 14

出産を機に自分が住んでいるまちがどんな取り組みをしているのかと思い参加しました。こどもの将来が少しでも健やかなものになればいいなと思います。頑張っていただければなと思っています。

発言者 15

市長が学校給食の無償化を掲げたことで給食に対しての興味、意識が高まっていると思います。

給食の質ということにも注目しています。先日、給食センターを見学し、栄養士の苦労を聞いてきました。良いものを提供したいと考えても、予算の制約があるので財源をどう回すかということになると思います。

お金をどうにか増やせないかと感じます。市長も掲げる企業誘致を進めることは良いと思いますが、優良企業がよいと思います。

クラウドファンディングやベルマーク回収など、学校のためにお金を稼ぐことが、市と協力して市民側で何かできないのかなと思います。

川越市こども計画の中で若者の将来人口予測が下がっていることが気になります。これを上げるためにどうするのかなというのがもっと欲しいなと思いました。

この計画の基本理念にある子どもの権利について、子どもに言う前に何か私達も頑張らなければという気持ちになりました。

こども未来部長

ありがとうございます。今、ご指摘いただいたこども計画の資料のお話はまさにおっしゃる通りで、将来を担う方々が減っていくことの危機感をこども計画でどうにか挽回する、川越ではこれを増やしていく、そういう決意の中でいろんな政策を展開していくという計画になっています。ご指摘ありがとうございました。

発言者 16

給食の時間に関してですが、給食の時間が 15 分ぐらいしかないように驚きました。しっかりよく噛んで食べることもできず、胃腸に負担がかかり午後の授業にも支障が出てしまうと思います。健康に対してどうなのかというリスクも考えていただきたいなと思います。各学校に給食時間をもう少し長くとるように働きかけをしていただきたいと思います。

先日、菅間第 2 学校給食センターを見学してきました。施設は新しくて綺麗でとても清潔感があり、こどもたちが見学しやすいように工夫されていましたが、

あまり利用されていないと聞きました。良い施設があるにもかかわらずこどもたちが見学に来ていないというのは勿体ないです、こどもたちが栄養士や調理師が作っている現場を見て、匂いを感じることによって、給食のありがたさを感じることができれば残食が減ることにも繋がり、最高の食育になると思います。残食が減ればその分の廃棄にかかるお金を他の事業に回すこともできます。食べることは生きることに直結していると思います。どんな素材がどのように愛情をかけられ育てられて調理され、自分の体やエネルギーの一部になるのかを知ることは、命をいただくこと、それによって自分が生かされていることへの感謝を学ぶきっかけとなりますし、大切な道徳心を育むことにも繋がっていくと思います。

川越の給食は地産地消にも力を入れており生産者の方や調理師から直接お話を聞くことで、地元川越に誇りを持つこども達が多くなっていくのではと思います。

1 食当たりの給食費が263円でお米と牛乳で半額以上の経費がかかっています。牛乳は、好き嫌いはつきり分かれていますし、廃棄にとてもお金がかかるそうなので、選択制の検討お願いいたします。

発言者17

こどもの権利条例を制定していただきたいと思います。今年度からこども計画の基本目標1にもこどもの権利が書いてありますが、実際こどもの権利に照らし合わせて作られているかというと、そうではないとは思います。

権利条例を作るメリットは、大人に向けた条例だと考えています。大人はすぐこどもを管理しやすい方に流れてしまう。これは市民団体も教育に関する現場も、私達親もそうだと思います。それを振り返るための条例という拠り所が必要だと思います。こども計画もそれに流されないように、まずは普遍的なこどもの権利を守る、ここは絶対変わらないという碇のようなものを作るべきだと思います。振り返ることによって、計画策定のときに「抜け」が少なくなると思います。そうすることで、今のこどもの計画で抜けている、皆さんが言っていたこどもの居場所などの底上げにも繋がっていくのかなと思います。

発言者18

こどもの世代の人口が減少している中、不妊治療を含めてこどもが生まれてくる体制を整えることを手厚くしていただきたいと思います。

歳入を増やす方法として、企業誘致、創業支援に力を入れいただきたいと思います。

長野や山梨へ移住する方が増えていると聞きます。人口増を狙うには、顔を知って住みやすい、安全であるというところを狙った移住というのも一つかと思います。

観光に来られた方に対する観光税のようなものを導入することで歳入が増えることにより、皆さんの希望が一つずつ叶っていくのではないかと思います。歳入が少ないとどうしても質が悪くなる可能性もあるので、収入増についてご検討いただきたいと思います。

市長

皆様、大変長時間にわたりまして貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。川越市に住んで子育てをしているからこそわかる問題をちゃんと認識することができました。本当にありがとうございました。子どもの遊び場の問題、また、預け先の問題、学校については、給食のお話が多かったですけれども、旗振り当番の問題、学習の問題、歳入を増やすべきやいけないということについても考えていただいたと思います。

一つ一つにコメントすることはできませんが、大変切実な話も含まれていたと思いますので、しっかりと実現などできるように取り組んでいきたいと思います。

本日は本当にありがとうございました。